

川 根 本 町

2026年3月号

図 書 室 だ よ り

3月

- ・文化会館図書室(小長井)
 - ・山村開発センター図書室(上長尾)
 - ・移動図書館車やまびこ号:川根本町内6コース
- TEL:0547-59-3106(文化会館)
TEL:0547-56-2231(山村開発センター)

- ☆ 開室時間:午前9時～午後5時
 - ☆ 休室日:月曜日・第3日曜日(15日)・祝日の翌日(21日)
 - ☆ やまびこ号巡回6コース
- かわねフォン、町のホームページでご確認いただけます。
なお、年間予定表は図書室で配布しています。

新着 図書



「川根本町インターネット図書室」では
新刊の詳しい情報や 蔵書の検索が可能です。



川根本町
インターネット
図書室
ホームページ

言語の誕生と
進化の謎を紐解く



文

今井むつみ 著
秋田喜美 著
中央公論新社

外壁や屋根リフォームの
悩みを解決!



文

ヌリカエ・リフォスム 著
エクスナレッジ

東洋医学×心理学で
相手の本性を透視!



山

鈴木まり 著
飛鳥新社

今、この問題を
直視せよ!



山

大前研一 著
プレジデント社



文

DK社 編集
河出書房新社



文

橋本実千代 監修
小学館



山

くすのきしげのり 作
こがめたく 絵
偕成社



山

原ゆたか 作
ポプラ社

◎ 新着図書



「川根本町インターネット図書室」では新刊の詳しい情報や蔵書の検索が可能です。

文化会館図書室所蔵	山村開発センター図書室所蔵
● 『数学者と聖骸布騎士団』 藤本ひとみ 著 講談社 医学部に進学することに決めたが、まだ数学研究者の夢を諦められないでいる上杉和典。フランスの学会に出ていた母が、アルプスの麓で自動車ごと崖に転落、遭難してしまった。和典は母を救出するためフランスに向かい....。	● 『晴れの日の木馬たち』 原田マハ 著 新潮社 どしゃぶりの日もある。でも、雨はいつかきつとあがる。病に倒れた最愛の父を支えるため、倉敷紡績で働く少女すてら。社長の大原孫三郎の知遇を得、贈られた雑誌〈白樺〉でゴッホの絵を見て心打たれ、「ゴッホが絵を描いたように小説を書く」と、自身の道を定める。あることをきっかけに岡山を去ることになったすてらは、東京へと向かうが.....。
● 『じゃあ、これは殺人ってことで』 東川篤哉 著 光文社 日本最大の犯罪都市・烏賊川市では、今日もあちこちで事件が発生。密室、アリバイ、人間消失。その裏にあるのは緻密なトリック？ それとも、うっかり勘違いと奇跡的な偶然？ 犯人も被害者も探偵も、どこか抜けていて大事なところでツメが甘くて....。	● 『口訳太平記ラブ&ピース』 町田康 著 講談社 執権・北条高時が権勢をふるう鎌倉時代末期。武家政権の転覆をめざすも失敗し、窮地に陥った後醍醐天皇の前に、天才戦略家・楠木正成が現れ....。日本最大の軍記物語「太平記」を、町田康が口訳。
● 『ぼくには笑いがわからない』 上村裕香 著 KADOKAWA 朴念仁で惚れっぽい、でもめっぽう頭はいい京都の大学生・耕助は、想いをよせる芸大生・百合子に好きなタイプは「おもしろい人」と言われて撃沈。耕助は幼馴染の将吉とコンビを組んでM-1を目指すことに....。	● 『うたかたの娘』 綿原芹 著 KADOKAWA 「僕」の故郷は若狭のとある港町で、奇妙な人魚伝説があった。高校時代、並外れた美しさで目立っていた水嶋という女子生徒が、幼い頃に何かの血を飲んだことで顔の造りが美しく変化したのだと、「僕」に秘密を明かし....。
● 『猿』 京極夏彦 著 KADOKAWA 「猿がいる」と言い出した同居人。かすかに感じる、妙な気配。曾祖母の遺産相続。胸に湧き上がる不安。岡山県山中の限界集落。よく判らない違和感——。怖さ、恐ろしさの本質を抉りだす長編小説。	● 『超すしってる』 須藤アンナ 著 中央公論新社 東大に落ちた女子高生・サッチャーに届いたのは、「西東京すし養成大学」の合格通知。同じく「合格」した親友たちと、入学オリエンテーション「シャリ」の洗礼を受け....。青春不条理ラブソディ。

おすすめ図書

『頭が良くなっていく人のすごい習慣』

脳は成長し続ける

加藤俊徳 著 ぱる出版



文化会館図書室所蔵

頭を良くしていくために最初にやるべき3つのことが、
【睡眠】【人と関わる】【学ぶ意欲を持つ】こと。

具体的には、7～9時間の深い睡眠をとり、自分以外の人たちからの影響をうけながら広範囲で新鮮な情報を得て、脳の中で活発に循環する状態をつくり、会議に出る・資料を作る・冠婚葬祭に行く・子どもを育てる・近所づきあいをするなどの社会勉強をすることだそうです。

他にも、大人の勉強は「短時間」で「楽しく継続」するのが正解！、メモ魔になる等、とてもためになる情報が満載です。

他の臓器や器官が年齢とともに衰えていくなか、脳だけは肉体が減びるまでずっと成長し続けるそうです。しかも赤ちゃんの頃に未熟だった神経細胞の大部分は使われることなく残っていて、この新品同様の神経細胞を使うことが、「潜在能力を引き出す」ということだとか。前期高齢者の私にも、希望という一筋の光が見えた気がしました。☆☆☆

図書室スタッフH